

平成30年7月24日

お知らせ

資料提供先 鳥取県政記者会
鳥取市政記者クラブ

平成30年7月豪雨における洪水の規模について(千代川)

千代川流域では、平成30年7月5日から8日にかけての梅雨前線豪雨により、7月5日～7日の72時間で、流域平均累加雨量410mm、千代川の智頭雨量観測所では累加雨量483mmを記録しました。

この豪雨により、千代川水系の千代川行徳水位流量観測所（鳥取市古海）ほか3観測所で、避難判断水位を超過する洪水となりました。

当洪水に対する治水事業効果についての既報（平成30年7月13日）に掲載致しました『今回の洪水“行徳流量”』等につきまして、流量観測結果に基づく流量（確定値）が求まりましたので、別紙資料を下記の通り更新致しました旨、お知らせします。

○発表資料：千代川水系 千代川・袋川・新袋川・八東川 国管理区間河川の水位概況（更新）

更新内容：行徳水位観測所における最大流量

約3,200m³/s → 約3,700m³/s
既往第6位（戦後第4位） → 既往第4位（戦後第2位）

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

TEL 0857-22-8435（代表） FAX 0857-29-8548

副所長（河川）

かたよせ ひでき
片寄 秀樹

【担当】

河川管理課長

さの たかゆき
佐野 孝行

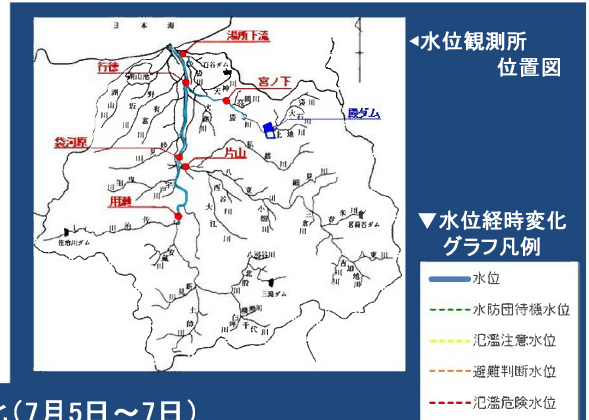
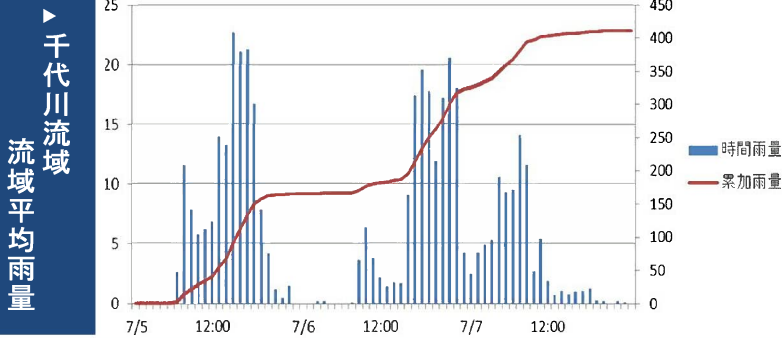
千代川水系 千代川・袋川・新袋川・八東川 国管理区間河川の水況概況

○ 鳥取県千代川流域では、7月5日～7日にかけて大雨となり、流域平均累加雨量410mm/72hrを観測、袋河原水位観測所（鳥取市河原町）ほか3観測所で避難判断水位を超過した。片山水位観測所（鳥取市河原町）では氾濫危険水位まであと0.1mと迫る水位となった。

○ 行徳水位観測所における最大流量は約3,700m³/sであり、**既往第4位（戦後第2位）**の洪水であった。

千代川水系 主な洪水

	発生日月	成因	行徳流量	
主な洪水	大正7年9月	台風	約6,400 m ³ /s	既往第1位
	大正12年9月	台風	約5,700 m ³ /s	既往第2位
	昭和51年9月	台風17号	約3,300 m ³ /s	既往第6位
	昭和54年10月	台風20号	約4,300 m ³ /s	既往第3位
	平成10年10月	台風10号	約3,600 m ³ /s	既往第5位
昨年の洪水	平成29年9月	台風18号	約2,900 m ³ /s	
	平成29年10月	台風21号	約2,100 m ³ /s	
今回の洪水	平成30年7月	梅雨前線	約3,700 m ³ /s	既往第4位



水位観測所における水位経時変化（7月5日～7日）

